

【第4号議案】事業計画の件

2019年度事業計画

・国際会議開催事業

中長期的に、IDWは、現状の分野を維持するとともに、新たな分野を取り込みながら、規模を維持する、または、拡大していく方針である。近年の新たな試みとして Scope 制が導入されるなど IDW の仕組みが変化しつつあるが、仕組みの変化は中長期的な課題であると考え、当法人を中心にワークショップ (WS) 等の意見を参考にして議論を進める。

2019年は、11月27日から29日の3日間、これまでと同様に一般社団法人映像情報メディア学会 (ITE) と The Society for Information Display (SID) の主催で、札幌コンベンションセンターにて第26回ディスプレイ国際ワークショップを開催する。組織委員長は小村真一 (ジャパンディスプレイ)、実行委員長は加藤浩巳 (シャープ)、プログラム委員長は木村宗弘 (長岡技術科学大学) である。国際会議の目的・趣旨・開催の形態は、おおよそこれまでのものを踏襲し、これまでと同様な成功を収めることを目指す。近年の新たな試みとして、Scope 制を継続し、個々の Scope の見直しも継続する。研究・開発・産業の動向にしたがい Topical Session (TS) や Special Topics of Interest (STI) を積極的に活用する。今年からは新投稿システムを導入し、Proceedings of IDW に掲載された論文に DOI を付与するとともに、会期終了後インターネット上にオープンアクセスの文献として公開する環境を構築する。適切な収支バランスも目指す。

・記念事業その他

IDW '19 で特色ある活動があれば検討する。

IDW の独自の表彰制度 “Kobayashi-Uchiike-Mikoshiha Prize” をスタートする。

中長期計画

・国際会議開催事業

IDW '19 以降の中長期的開催方針や施策について、2017年に国際会議委員会から IDW '18 コア委員会に提案した内容の実施状況や実施効果を見ながら、再度見直しの議論を進め、IDW '19 以降の国際会議運営への反映を目指す。

以上